



い風合いと綺麗なフォルムに仕上げられた小物入れ、鋭角な凹凸により模様を表現し、鮮やかな色合いで仕上げた多彩なアイテムは日常の生活の中にあるだけでも絵になる。

約1500年の歴史を持ち、美しさと丈夫さで、古くから最高品質の和紙として知られてきた越前和紙。日本最初のお札用紙にも採用され、美術界では横山大観や平山郁夫などの芸術家も支持。近年では抗菌消臭の効果も認められ、宇宙滞在用被服の素材にも採用されている。壁紙やふすま紙をはじめ、インテリア用品、暮らしに取り入れることができるアイテムも増え続け、それらは「用紙」の枠にとどまらない。シワ感のある優し

詳細動画はこちらから



種類の豊富さと質の高さは日本一、日常に取り入れたいくなる風合い。

越前和紙のおはなし



越前和紙は楮・三椏・雁皮などの植物の靱皮繊維を主原料に、溜め漉き(ためずき)、トロアオイの粘液を加えた流し漉き(ながしずき)など、手漉きを中心に作られている。また、機械すき、紙加工も行われ、種類の豊富さと質の高さは日本一と称されている

